

第1節 占領下の日本と冷戦

84 占領された日本と日本国憲法

日本の占領はどのように行われたのだろうか。

占領の開始 1945（昭和20）年8月末、
アメリカ軍を主体とする連

合軍による日本占領が始まった。アメリカの占領目的は、日本が再びアメリカの脅威にならないよう、国家の体制をつくりかえることだった。日本政府は存続したが、その上にマッカーサー司令官が率いる連合軍総司令部（GHQ）が君臨し、その指令を日本政府が実行した。

ポツダム宣言に基づき、陸海軍は解散させられた。外地にいた軍隊は武装解除され、日本への復員が始まった。

厚木飛行場におりる
マッカーサー
連合軍最高司令官
として、5年半、日本を統括した。
（毎日新聞社提供）



1946（昭和21）年からは、東京裁判（極東国際軍事裁判）が開かれ、戦争中の指導的な軍人や政治家が「平和に対する罪」などを犯した戦争犯罪者（戦犯）であるとして、7人が死刑判決を受けるなど、それぞれに裁かれた。また、GHQは、戦時中に公的地位にあった者など、各界の指導者→

1 (244-1) ただし、沖縄や小笠原諸島などでは、アメリカ軍による直接統治が行われた。

→約 20 万人を公職追放した。

GHQ は、日本政府に対し、婦人参政権の付与、労働組合法の制定、教育制度の改革などの、五大改革指令を発した。民主化とよばれたこれらの改革は、矢つぎ早に実行された。また、戦争中に大きな影響力をもったとして、財閥が解体され、農村では農地改革が進められた。

5



^{がいち}外地から引き上げてきた人々 将兵以外にアジア各地域で暮らしていた日本人たちも帰国した。こうした人たちは海外で築いた財産を失い、引揚げの途中になくなったり、家族を失った人も多かった。
(毎日新聞社提供)

2 (244-2) このほかに国の内外で971名の将兵が捕虜の虐待や一般住民殺害の責任を問われて処刑され、さらに多くが長い年月、刑務所に収容された。この中には人違いや全くの無実にもかかわらず処刑された人もあったといわれる。

244-3

3 (244-3) 地主のもつ小作地の大部分を国家が強制的に買い上げて、小作農に安くあたえ、自作農を増やした。

244-4